請　願　文　書　表

（令和７年１１月２０日
第４回市議会定例会）

受理番号	請願第２号
受理年月日	令和７年１１月１０日
件　　名	安心して医療が受けられ、健康が守られるように国民健康保険料の改善を求める請願
請願の要旨	・国民健康保険料を引き下げること。 ・子供・子育て支援として均等割減免を18歳まで拡充すること。
紹介議員	北島定、小黒啓子、酒井豊実
請願者の住所、氏名	[redacted]　[redacted] 浜松・国民健康保険を良くする会 代表世話人　疋田朋広、堀内慶一　　ほか２２３９人
付託委員会	厚生保健委員会

安心して医療が受けられ、健康が守られるように
国民健康保険料の改善を求める請願



２０２５年１１月１０日

浜松市議会議長　髙林　修　様

請願者　　住　所 [redacted]

団体名　浜松・国民健康保険を良くする会
代表世話人　疋田　朋広 [redacted]
堀内　慶一
他 ~~2240~~ 2,239筆

紹介議員　北島　定 [redacted]　小黒　啓子 [redacted]　酒井　豊実 [redacted]

【請願趣旨】

健康を維持し、元気に暮らせることは、市民共通の願いです。国民健康保険（国保）は、国が責任をもって財源を確保し、国民に必要な医療を給付する社会保障です。

年金者や自営業者などが多く加入する国保は、国民皆保険を支える柱となっています。

しかし、国保では他の保険にはない均等割・平等割が付加され、保険料が所得の１５％を超える場合もあるなど、高い保険料負担が生活を圧迫しています。

物価高の中で高い保険料が払えず、滞納して満足に医療が受けられない方も出ています。

浜松市の国民健康保険財政は黒字で基金もあり、保険料の引き下げは可能です。浜松市は政令市の中でも国保料が高く、平均より２万円以上高くなっています。

就学児未満の国保均等割半額が実現しました。全国では、子育て支援の観点から自治体独自で１８歳までの均等割減免が進んでいます。

だれもが安心して医療を受けられるよう、以下の事項を請願します。

【請願事項】

一、　国民健康保険料を引き下げてください。
一、　子ども子育て支援として均等割減免を 18 才までに広げてください。